



# 学校だより

4月号

希望【きぼう】 幸福【しあわせ】 他愛【やさしさ】  
岸谷小ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kishiya>

令和2年4月7日  
横浜市立岸谷小学校  
校長 矢崎 真理

## 不測の事態に

校長 矢崎 真理

こんな事態を、誰が想像したでしょう。  
わたくしの長い教員生活においても、初めての、予想もつかない状況が続いています。

3月20日には、子どもたちと教職員と保護者代表の小笠原PTA会長だけが参列した、岸谷小学校の第79回卒業証書授与式が、短時間で行うことが指示された中でできる最大のことを計画、準備して、とてもシンプルでさわやかに行うことができました。小学校生活最後の授業ということ、出席したみんながしっかりと表現できた、思い出深い、すばらしい式でした。立て看板のところでの写真撮影も時間指定で混乱なく行われ、参加できないなどということがあるとは思いもされなかった、無念の思いを抱えていらっしゃるであろう保護者の皆様の複数の方から、「校長先生、大変な時に、できる限りの最大限のことをやってくださって、本当にありがとうございました。」とおっしゃっていただきました。その日まで、教職員全員でさまざまなことを想定し話し合い、制限があるなかでも最高の式になるようにと準備を進めたことが伝わった、認めてくださった喜びに浸ることができ、感激しました。ありがとうございました。

私たち教職員にとっては毎年繰り返される始業式や入学式の光景ではありますが、一人一人の子どもたちにとっては、何もかもが一生に一回の経験です。

その中で、令和初の卒業証書授与式も離任式も入学式も、例年とは異なる形になってしまったことは残念で辛いことではありますが、3.11を超えると言われるほどの、国としても世界としても大変な事態であることを十分に理解して、対応していかなくてはならないことを改めて強く思っております。将来、振り返ったときに、「よく乗り越えたねえ。」と思いつかべ、ねぎらうことができるように過ごしていきたいと思えます。

年度始めは、わたくしの教育ビジョンである「かけがえのない一人一人を大切に」を実感するときです。新たな年度の始まりに身が引き締まる思いです。6日の入学式、7日の始業式を行って、8日からはまた臨時休校になりますが、学校が再開されたときにスムーズに学校生活が始められるように教職員一同気持ちを揃えて取り組んでいますので、ご家庭におかれましては、コロナウイルス感染対策に引き続き努めていただき、学校にみんなが集まったあとに、岸谷小学校がオーバーシュート（爆発的感染者急増）、クラスター（感染者集団）にならないように、年度末にがんばっていただいたことを、さらに強化して取り組んでいただければと思います。

教育の力は、子どもたちに伝えたこと、教えたこと、考えさせたことが、実践力となって行動できることにつながっていると思っています。子どもたち、若者たちは軽く済むともいわれる病気であっても「自分が感染者になってしまうと、家族を始め大切な人達を命の危険にさらしてしまう。」という意識をもって行動してほしいと願い、校長講話で伝え、担任からは各学年の児童の発達段階に応じて指導しています。

今が、我慢の時！ ご不自由、ご不便なこともあるかもしれませんが、感染拡大を食い止めるのは、一人一人の自覚と行動にかかっているということで、ご理解ご協力をお願いいたします。

一日も早く、ふだんの学校生活が営めますことを願っています。今後、予定している行事等、変更を余儀なくされることが多々あると思われまます。

ご迷惑をおかけしますが、今年度も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

職員紹介は配付用の学校だよりに記載しています。

行事予定は配付用の学校だよりに記載しています。